Black Cherry
皐月フミ
Presented by Fumi Satsuki
絶界牢獄4
ぜっかいろうごく
成年コミック
絶界の檻と淫魔の罠

Black Cherry

それではいい家畜生活を
看守
ミカエル・ラルミナ
なんてことを言われたのがついさっき
そしてそんな失態を犯す羽目になったのが
つい昨日の…!
クソが
来世まで呪ってやるあの野郎
ゴンッ
バカ言ッテナイデサッサト帰レ
見てんじゃねー!
それにしても…

家畜つっても
ここに左遷された時点で
同じようなもんだろ

ここは看守にとっても
墓場の監獄島

条件の都合上
給料だけはいいものの
志望して来る者など
滅多にいない

一年の大半を
ろくでもない同僚たちと
凶悪犯たちだけの
閉ざされた島で過ごさなければ
いけないのだから

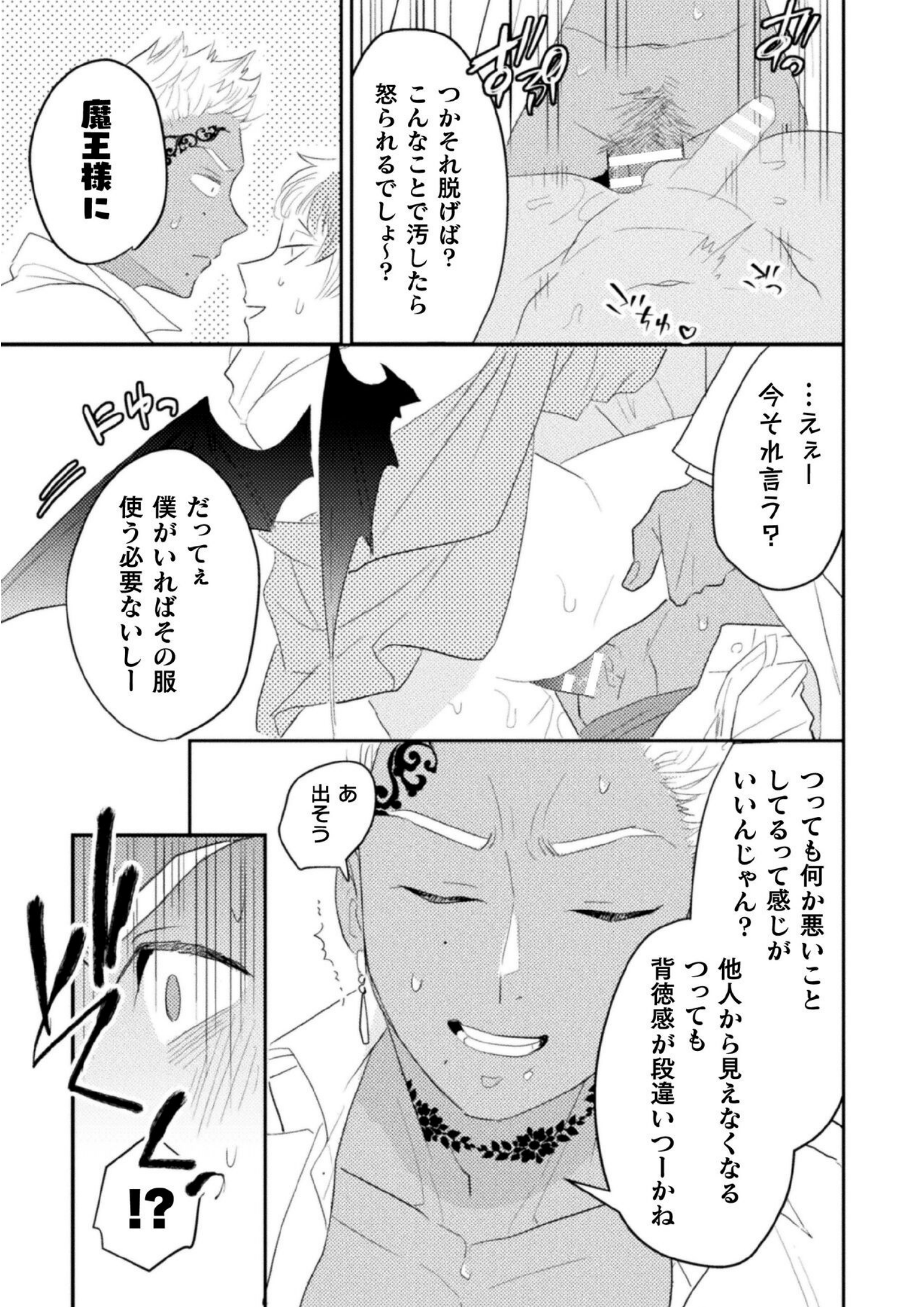
ガヤッ

……ん？

何だ
股間に違和感が

……！
ああああ――!!!
ねー
こんなことしてて
いーの？
お仕事は？
アレックス
んー？

あー
もう今日のシフト終わったし
でもしばらく島を出る暇ないからさあ
ふーん
あ
あっ♥
あ♥
ぬちっ♥
ぬぷっ♥


魔王様に
つかそれ脱げば？
こんなことで汚したら
怒られるでしょ～？
…えぇー
今それ言う？
だってぇ
僕がいればその服
使う必要ないしー
つっても何か悪いこと
してるって感じが
いいんじゃん？
他人から見えなくなる
つっても
背徳感が段違いつーかね
あ
出そう
!?

背徳〝感〟じゃなくて
そのものだ
死ね

死ね!?
あっ

いきなりは酷くね!?
喋れるだけありがたく思え
あっ逃げるなアプフェル

もー休憩時間
終わるし
持ち場に帰りま~すぅ
あとはよろしくね♡
アレックス
くそ…！
はーい~
早く下を穿け
みっともない
お前がぶん殴ったから
こうなってるんじゃない!?
ソジュ…ン
あ
ええっ
アーデルハイド

アプフェルとはさあ
日課の情報交換
してただけっつーかさー
それでどうしてセッ……
あんな必要がある？

特別監察隊の権限を
超えてる

俺らも〝刑期〟終わるまで
島から離れられないも
同然なんだし
息抜きも必要じゃん？

そのために彼らの力は
あるとも言えるしー

彼ら淫魔の力は
囚人たちの性欲を
抑えるためにあるというか
それが仕事だ

対し
お前はただの
性欲の権化だ
死ね

何でそうすぐ
俺を殺そうとすんの!?

ばさ
ばさ

お？
やな予感が

アーデルハイド！
アレキサンダー！
西棟B通路カラ
水路デ港ニ向カッテ
脱走者三名！

オマエラガ
一番近イ！

えぇ～
俺もう勤務終わったん
だけど……

はーい

早く着替えなかった
お前が悪い
行くぞ

一週間後

う――ん

あれから変な気分には全然ならねえ

それは凄くいいことだいいことだが急に何で……

それに股間のアレ邪魔でしょうがねえどうやったら…

あの

ゼロ

何だ!?

いえ ちょっとお姿をお見かけしたので〝使用感〟をお尋ねしてみようかと思いまして

私は乱交と麻薬を
司る闇サバトの悪魔
レオナールと申します
あ？
何の……
あああああ!?
まさかテメェ
おや
いい加減
お察しがいい
……なんて？
ですから
いや意味を聞きたい
訳じゃねえ
この島そんな魔物しか
いねえのか？
ていうか
何で人間の姿で
囚人やってる？

ああ
人間に溶け込むためです
それが魔王様からの
使命ですので

魔王？
使命??

それはおいおい
分かるでしょうし
重要なことでは
ありません
私には

俺には
重要なんだよ

えー
それでまあ
あれは私どものサバトで
使う魔道具なんですね
その新型の試作品を
魔王様にお預けしていたのです
ば――ん
魔王って
あの野郎の
ことか？
でも聞いても
何のことか
どうせこいつ
教えないだろうな
つか
これどういう効果
あるんだよ？
知ったところで
自分で外せないのに
意味なくないですか？
独房入れるぞ
テメェ
職権濫用ですね
まあもう話に
飽きたので
お話ししますと

それは
装着者の性欲
を操ります
は？
それがあれば
誰彼構わず発情する
ことはなくなります
ドキッ
ただし性欲自体が
なくなる訳じゃない

装着させた者の……
支配者の意のままになる
はあああ？？？
だからあれから
数日経っても
体が落ち着いてる
でしょう？

でもそれは
性欲がソコに
溜め込まれ続けてる
だけなのです
え？
じゃあこれ外したら
どうなるんだ？
ていうか その
さあ？
というか…外せなくても
魔王様に逆らえば
どうなるかは
分かりきってますよね
……！
知るか
あの野郎オオ!!

うーん
やはり彼は
からかい甲斐がある

まあ…魔王様のために
我らのために
存分に利用させて
いただくとしましょうか

……何のための
哨戒(しょうかい)だ？

いやーだって
こいつも一応は看守だし！
出来れば仲良く
しときたいんですよね！

そいつはどう足掻いても
セフレには
ならないと思うぞ

何の話してんだ!?
テメエは出てけ！
見張りを続けろ！

待って！
出る時は
蹴らないで！

何なんだアレ
バタン
特別監察隊
魔物たちと協力して
島の平和を守ってる
あれが……？
どう見ても
そんなキャラじゃない
だろアレ
ぱっと見はな
貴様よりもずっと
悪質な奴らが
懲戒免職の代わりに
配属されてる隊だから
色んな奴がいる
はア？
あ あの……♡
誰が動いていいと言った
このマゾ豚が
ばっ
ヒール
ああ…今日の懲罰者か
俺も洗脳されてたら
ああいう……

さて
貴様はもう帰れ
そしてここのことは
全て忘れろ
うおっ!?
で？
貴様は何の用だ？
おおかた貞操帯のこと
だろうが
それ以外にあるか
外せバカ
魔道具というものは
身につけていれば人間でも
魔物の力を得られる
だから特別監察隊員も
あの資料室の時と違って
はっきり見えただろう？
あれ
あいつらかよ…！
ズズズ…
非人道的にも
ほどがあるわ
そんな便利なのに
いらないのか？
いらんわ!!
こそこそシャワー
浴びに行く身になれ

だが
貴様の要望通りに
なっただろう？
勝手に発情するのを
抑えられる
くすくす
尊厳と引き換えとは
言ってねえよ
チッ
貴様にもそんなものが
あったとは
もうそれはいい！
そうか
それでは返してもらおう
レーク
もっと尊厳を
失ってもいいのならな
……！

くそっ
待っ……
外して欲しいんじゃ
ないのか？
それとも
何が起きるか
分からなくて怖い
……か？
ああっ

んなことねーわ！
そうか
ガシャン
お？特に何も…
キィィィ…
あれ？
びくっ
びくびくっ♡
これで気が済んだなら…
ん？

どうした？
あ……っ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ

カシャ
性欲なんかで
仕事を放棄しない
こいつがこの刑務所で
何を企んでるのか
確かめる
それが俺のはずだ

今までのだって
根性で耐えてきたし
はあ
前回だって
正気は正気だった
なのにどうして
はあ
どうして……！

……
何かを我慢しているなら
素直になればいい
お前が俺に従うのなら
俺は敵じゃない
はっ
うるせえ……っ
ガン
ガ!!
あっ

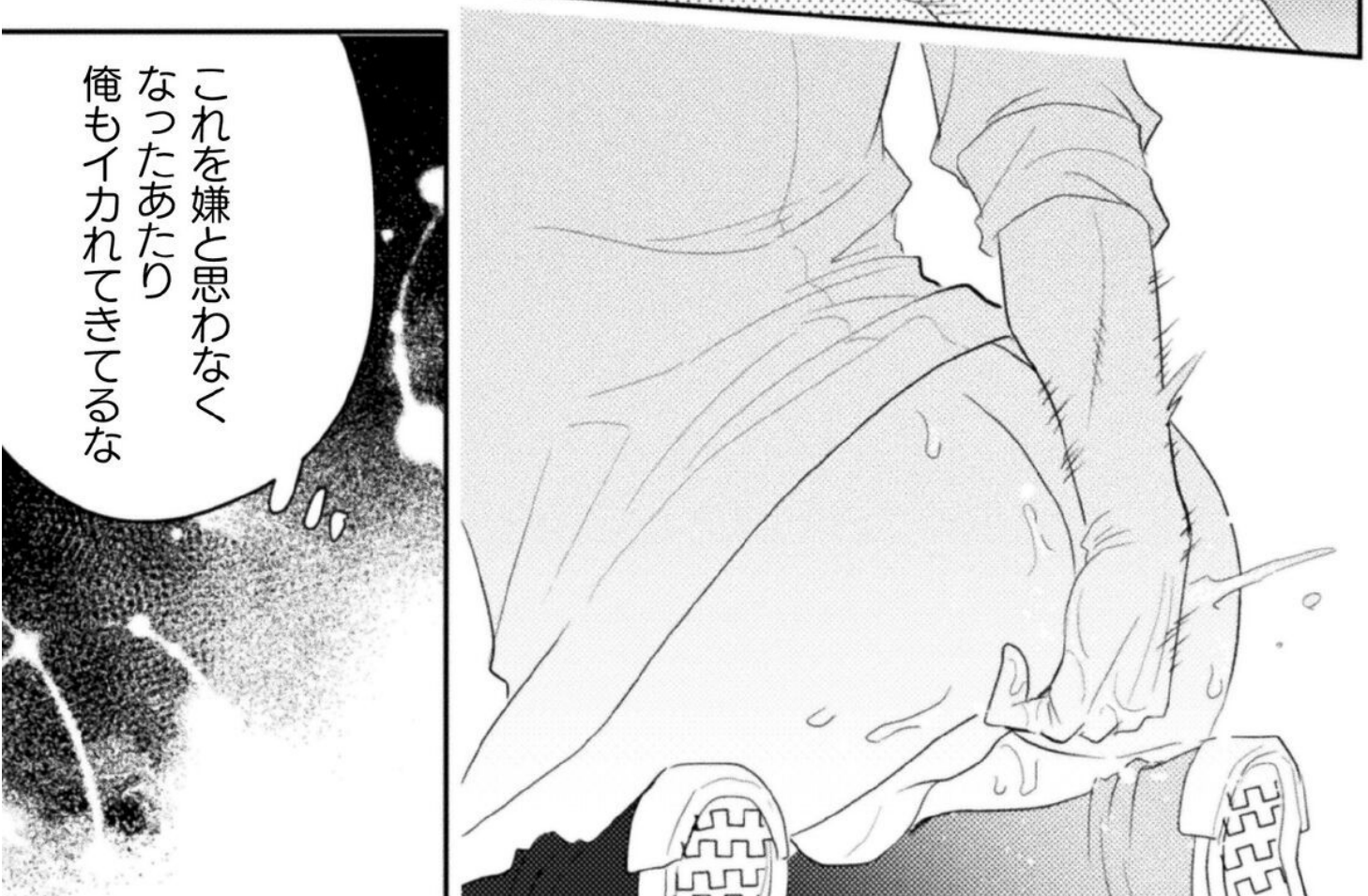
!?
にゃる
何してんだ俺は
くちゃ
ちゃっ
でも体が言うことをきかない
おいちょっと待て

何を…
何だか
ぽっ
……っ
テメェが…っ
仕掛けたことだろうが
ん??

脳が
とても気持ちいい
ずるる
魔王様どうする？
ずる
少し待て
何故
こんなことに

むっ
ぷっ
ぷっ
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡

はあ……


これを嫌と思わなく
なったあたり
俺もイカれてきてるな

っ…くおい
離せ
ぶるっ
しゃくるっ
しゃくるっ
う…
まっず
ごくんっ
何してるんだ…
えーと…
手伝う？
うぃ
そい
そい
そい
事態を
悪化させる
気か
少し離席
していてくれ

今のこいつに更に
淫魔を使ったり
強制的に帰らせれば
それこそおかしくなるだろう
原因はおそらくあの
魔道具なんだろうが
俺が聞いた説明では
あんな…
おい

こっちは
こないだのが初めてで
勝手が分かんねえ…
…好きに
していいから
早く

……これがあいつか？
偽物だとか演技ではなさそうだ
なんだか頭痛がしてきた
こんなの拒否すればいいそれだけのことなのに
それだけの……
挿れろよ
なあ

チッ
あっ
貴様も所詮は
魔法にやられる雑魚(ざこ)か
そんなに調教されたいなら
望み通り――…
されたかねーわ！
ねーけど
何にもやられたり
してねえ
俺は俺だ

……！
ああ
何言ってんだ
俺は
でも
誤解されたままは
腹がたつ
プライドふたつを
天秤にかけるなら
どっちがマシかって
俺はこっち
だっただけ
多分そう

あ――
こいつらにムカつくのは変わらないけど
俺自身にもムカつくくらい気持ちいい

でも
普通なのはもう
もどかしいな
ぱん
ぱちゅ
ぱちゅ
もっと奥…
ぎゅ
ちょ…ちょっと
落ち着け
技をかけるな
あ？
技じゃねーわ
何だよ
もう降参かよ
矯正監様♡

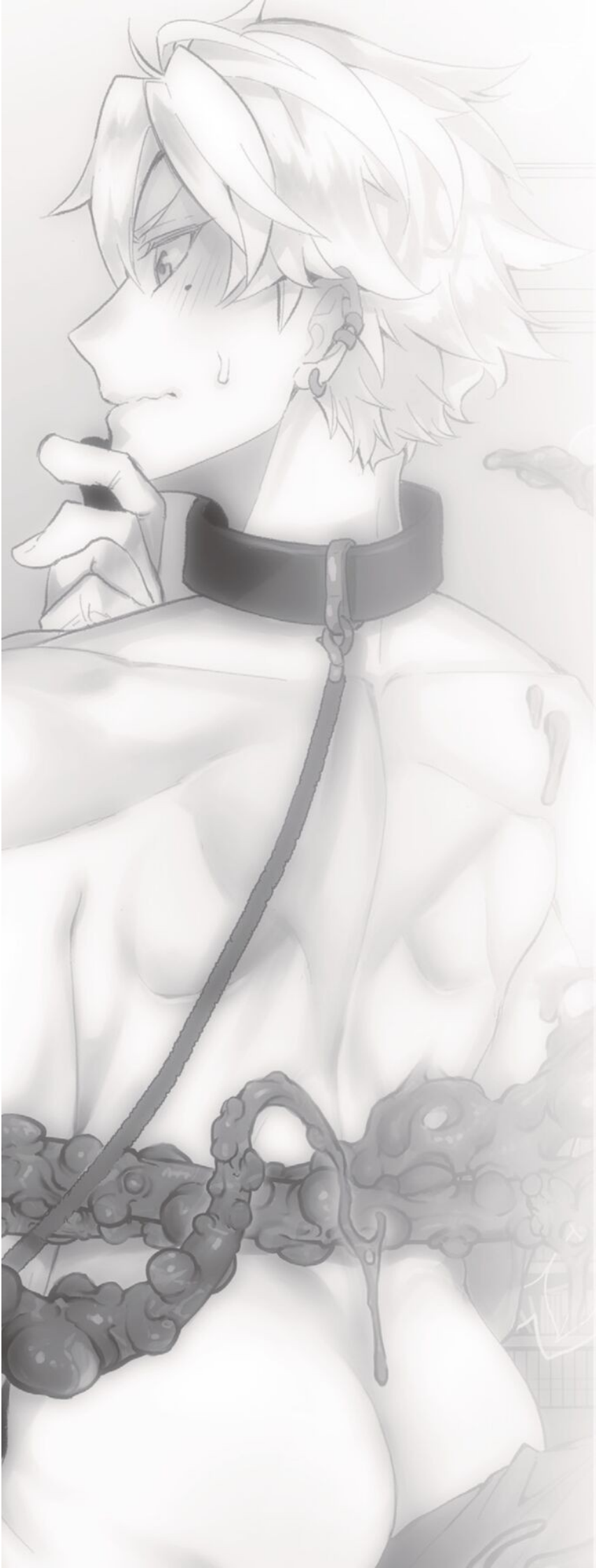
っ…
テメェもサボっちまったな？仕事(^-^)
……っああくそっ
はっ

ビクッ
ビクッ
ビクッ
今回特に
色々と…
やらかした気しか
しねえな…まあいいか…

ザバッ
何すんだ
あの汚れた姿で
帰るつもりだったか?
俺の制服なら
替えがあるから
着たらさっさと帰れ
着れるか
サイズ考えろ
……

じゃあ
こっちしかないが?
本当にそれで
無事に帰れるん
だろうな!?
まあな
あと早退届は
出しておけ
俺の…矯正監の
判があれば
一発で通るだろう
くそっ

では帰れ
ぁぁぁぁぁぁ
……これは…性欲を
吸収することで抑制できると
言うから
交渉材料にと
思ったのに
何で逆の効果が
しかし
レオナールが
ここの魔物が……
俺に嘘をつける
はずがないし
ということは
ミカエルが
騙されただけか
あのバカめ
TO BE
CONTINUED



Black Cherry

ブラックチェリーコミックス

絶界牢獄4
絶界の檻と淫魔の罠

漫画◉皐月フミ

装丁◉マイクロハウス
発行◉株式会社キルタイムコミュニケーション
〒104-0041　東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル
編集部 TEL03-3551-6147 ／ FAX03-3551-6146
販売部 TEL03-3555-3431 ／ FAX03-3551-1208

© 皐月フミ
※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

https://ceriserose.jp/r18/

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど、どしどしお書きください！　読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

アンケートフォーム

https://ktcom.jp/goiken/

手紙・ハガキ・メールの宛先

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル
(株) キルタイムコミュニケーション
ブラックチェリーコミックス感想係
メールアドレス　blackcherry@ktcom.jp

Illustration by 皐月フミ

『絶界牢獄4 絶界の檻と淫魔の罠』

©KILL TIME COMMUNICATION